トピックス

TIGER Drylac Japan、次なる成長ステージへ

ヴァイス彩夏 *

2027 年の日本法人設立 30 周年を前に「TDJ2.0」で新たな一歩 粉体塗料で培った信頼と世界の技術力を基盤に、新たな事業領域にも挑戦

30 周年を前に、新たなステージへ

オーストリアに本社を置く TIGER Coatings（**写真 1**）の日本法人、タイガードライラックジャパン株式会社（以下、TDJ）は、2027 年に設立 30 周年の節目を迎える。粉体塗料を中心に長年日本市場で事業を展開してきた同社は現在、「TDJ2.0」を掲げ、新たなステージへ歩みを進めている。これまで築いてきた顧客との信頼関係を大切にしながら、グローバル企業ならではの技術力と日本市場のニーズに寄り添うサービスを融合させ、さらなる成長を目指す。

伝統と革新を受け継ぐ TIGER グループ

TIGER Coatings は 1930 年にオーストリアで創業したファミリー企業だ。1968 年には、当時まだ新しい技術だった粉体塗料の分野に進出。その後も研究開発とグローバル展開を進め、現在は世界各地に製造・研究開発拠点を構える。建築部材や産業機械、家具、家電製品など、幅広い分野に表面処理ソリューションを提供している。

同社の強みの一つは、高い意匠性と機能性を追求する技術開発力だ。多彩な色や質感を実現する粉体塗料に加え、近年は産業用デジタル印刷向けインクの開発にも取り組むなど、時代の変化に合わせて技術領域を広げてきた。

TDJ2.0――より身近で、信頼されるパートナーへ

TDJ が日本市場で目指すのは、海外の優れた製品を輸入・販売するだけでなく、顧客の課題に寄り添い、ともに解決策を考えるパートナーとなることだ。その象徴が新体制「TDJ2.0」である。顧客とのコミュニケーションを重視し、一つひとつの問い合わせに迅速かつ明確に対応するのはもちろん、海外の技術チームとの連携をさらに生かし、日本市場の多様な要求に応えられる体制づくりを進める。海外で開発された新技術や新製品を日本の顧客に紹介すると同時に、日本市場で得た知見や課題をグローバル組織に共有することも、TDJ の重要な役割だ（**写真 2**）。

約 30 年にわたり築いてきた事業基盤を継承しつつ、技術、製品、サービスのあらゆる面で新たな価値を提供する。それが TDJ2.0 の目指す方向性である。

粉体塗料を基盤に広がる、新たな可能性 高意匠性と柔軟な供給体制を強みに

TDJ の事業の柱は、「TIGER Drylac®」ブランドの粉体塗料だ。

粉体塗料は塗装時に有機溶剤を使わないため、VOC（揮発性有機化合物）の排出削減に寄与する。条件によっては塗着しなかった粉体を回収・再利用できるなど、環境面や材料効率の面でも多くの利点がある。日本でも環境負荷の低減や作業環境の改善、省人化への関心が高まる中、粉体塗装の可能性は今後さらに広がると期待される。TIGER Drylac の特徴は、こうした機能面の利点に加え、豊かな色彩表現と高い意



写真 1　TIGER Coatings 本社

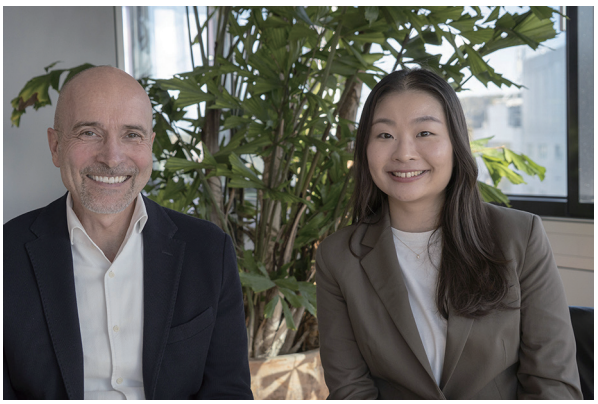


写真 2　（左）TIGER Coatings CEO：Clemens Steiner 氏、（右）TIGER Drylac Japan 取締役兼日本営業統括マネージャー：ヴァイス彩夏氏

* TIGER Drylac Japan　取締役兼日本営業統括マネージャー



写真３　RAL カラー約 200 色を常時在庫



写真４　TIGER ArchiPrint の施工例

匠性にある。メタリックをはじめ多様な仕上がりをそろえ、一般工業用途から建築関連製品まで、顧客が求める外観や性能に応じた提案を行っている。

国内では RAL カラー約 200 色を常時在庫し、小ロットや短納期の要望にも柔軟に対応する。国内に在庫のない製品や特殊色についても、海外拠点の製品ラインアップや製造ネットワークを活用し、幅広い選択肢を提供している。また、日本の塗料市場で求められる色に対応するため、日塗工色での発注・調色にも取り組む。製品の品質に加え、必要な製品を必要なタイミングで届ける供給体制と、顧客の要望に応じた柔軟な対応力も、TDJ の大きな強みとなっている。（**写真３**）

もう一つの事業領域 TIGITAL による機能性と意匠性の両立

TIGER グループの事業は粉体塗料にとどまらない。もう一つの柱として展開するのが、産業用デジタルインク事業「TIGITAL®」だ。機能性と意匠性の両立を目指し、屋内外のさまざまな用途に向けた高機能インクを開発・製造している。用途は、段ボールや食品業界向けの包装材から、長期耐久性が求められる屋外建築用途まで幅広い。UV 硬化型、水性、ハイブリッド型など、用途や要求に応じたインクシステムをそろえる。

適切な印刷工程と材料を組み合わせることで、従来のアナログ印刷では難しかった素材や形状にも、多様な意匠表現の可能性を広げている。インクの開発・供給を軸に、プリンターメーカーやシステムインテグレーター、前処理技術を持つ企業などと連携し、顧客の用途や製造工程に適した印刷システムの構築を支援する。日本のプリントヘッドメーカーとも良好な協力関係を築いている。

例えば、プライマー、シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックのカラーインク、保護用のクリア塗膜をすべてデジタル印刷で形成する層構成により、意匠性に加え、建築用途などで求められる密着性や耐久性への対応を図っている。

こうした技術の可能性を示すのが「TIGER ArchiPrint」だ。粉体塗装とデジタル印刷の組み合わせに加え、鋼材やアルミニウムなどの金属、窓枠用 PVC 形材、コンクリートなど、さまざまな素材への展開も含む。用途に適した材料と工程を組み合わせ、表面の保護性能と自由度の高いデザイン表現を両立させる。（**写真４**）

日本市場では現在、国内の事業パートナーとともに、TIGITAL のインクに対応した印刷設備の導入に向けた準備を進めている。

今後はプリンターメーカーに加え、産業用デジタル印刷設備を導入して独自の製品開発や新規事業を目指す企業とも協力関係を築き、顧客やパートナーの新たなビジネスの可能性を広げたい考えだ。

粉体塗料とデジタルインクは異なる技術領域だが、製品表面に機能性と意匠性を付与し、ものづくりの付加価値を高めるという点で、目指す方向は共通している。

世界の技術力を日本へ、そして次の 30 年へ グローバルネットワークを活用した技術支援

TIGER グループの世界的な研究開発ネットワークも、TDJ の大きな強みだ。

TDJ は現在、国内に自社の製造工場や研究開発拠点を持たないが、オーストリア、中国、ベトナムなどの海外拠点と緊密に連携している。例えば、顧客の製造工程で品質上の問題や技術的な課題が生じた際には、日本側だけで対応するのではなく、海外の技術者や研究開発チームも交えて原因究明や改善策の検討にあたる。

各国の技術や知見を共有できることは、製品の選択肢を広げるだけでなく、顧客にとってより適切な解決策を見いだすうえでも重要な役割を果たしている。

TIGITAL でも、オーストリアの研究開発・印刷試験設備を活用し、インク開発から印刷性能の評価までを行う体制を整えている。

TDJ2.0 では、こうしたグローバルな技術基盤を日本の顧客にとってより身近なものとし、技術相談や新製品開発の可能性をともに考えられる存在を目指す。

2027 年、日本法人設立 30 周年という節目

2027 年、TDJ は日本法人設立から 30 周年を迎える。

日本市場で事業を続けてこられたのは、長年にわたり製品を採用し、支えてきた顧客や販売パートナー、塗料・塗装業界の関係者の存在があってこそだ。

節目を迎えるにあたり、日頃の感謝を伝えるとともに、顧客と直接交流し、技術や製品について意見を交わす機会を設けようと、さまざまな企画を検討している。

30 周年を単なる記念の年にとどめず、これまで築いてきた関係をさらに深め、新たな可能性をともに考えるきっかけにしたい考えだ。

TDJ2.0――信頼と実績を次の成長へ

技術の進化、環境への配慮、人手不足、製造工程の効率化など、日本のものづくりを取り巻く課題は変化し続けている。

その中で TDJ が目指すのは、顧客の声に真摯に耳を傾け、変化するニーズに柔軟に応えながら、確かな製品とサービスを提供し続けることだ。

粉体塗料事業で培った経験と信頼を基盤に、グローバルネットワークを通じた技術提案力を磨き、TIGITAL をはじめとする新技術の可能性にも挑む。

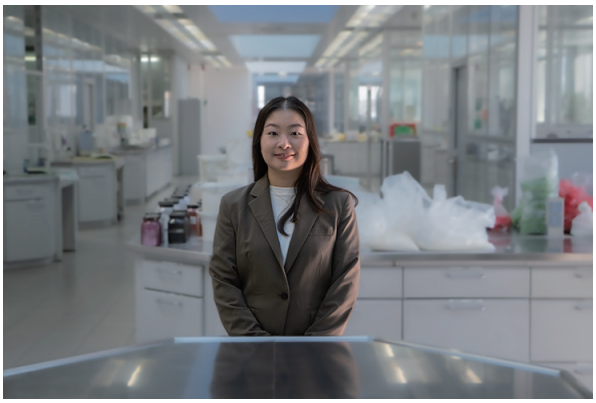


写真５　ヴァイス彩夏氏

30 周年は、これまでの歩みを振り返ると同時に、次の時代へ踏み出す新たな出発点でもある。

「何かあれば、まず TIGER に相談したい」――。顧客にそう感じてもらえる存在となるため、TDJ2.0 は製品、技術、サービスのすべてで進化を続け、日本の塗料・塗装業界とともに次のステージへ歩みを進める。（**写真 5**）

On demand powder coatings

conall®

コナール

環境にやさしい、小ロット短納期、オンデマンドオーダー粉体塗料・コナール

- ●１ケース５kg からの指定色を製造※
- ●ご希望の色を忠実に再現
- ●鮮鋭性・平滑性にすぐれ、美しい仕上がり
- ●短納期

用途に応じた、豊富なラインナップ

標準タイプ	スーパーコナール	FL フッ素	屋外用最高級グレード。最高ランクの耐候性を有するフッ素樹脂粉体塗料です。
	ハイパーコナール	FH フッ素ポリエステル	屋外用高級グレード。フッ素樹脂を使いコストパフォーマンスに優れた中間グレード。
	コナール	PK 高耐候ポリエステル	１ランク上の屋外用。耐候性と付着性のバランスが取れた使いやすい粉体塗料です。
		PU ポリエステル	一般屋外用。平滑性に優れ艶有から３分艶有まで調整可能です。
		PH ポリエステル	一般屋外用低温型、１６０℃×２０分での焼付が可能です。焼付時にヤニが出ません。
		HT エポキシポリエステル	一般屋内用。強靭で鮮鋭性に優れた塗膜です。
		HL エポキシポリエステル	一般屋内用低温型。１５０℃×２０分での焼付が可能です。
意匠性タイプ	コナール	ウェーブ	意匠性凹凸模様。溶剤系では表現できない立体的な模様で、重厚感と高級感を演出します。
		メタリック	ボンディングタイプ。溶剤系とは違うメタリックで重厚感と高級感を演出し、塗装も容易です。
		スリックスエード	新たな色彩表現となめらかな感触で商品に新しい可能性を開きます。
	コナールトーン	ハンマートーン	ハンマートーン模様。溶剤系でも長く親しまれてきたハンマートーンです。模様再現性は溶剤に比較して容易です。
		リンクルトーン	リンクル模様。縮み、チリメン、リンクルなど溶剤系でも様々な名称で親しまれてきました。粉体の模様は溶剤と比較して緻密で均一になります。
		スネークトーン	スネーク模様。リンクルトーンに似ていますが、まさに蛇革です。色を工夫することで斬新なイメージを与えることができます。
		アンティークトーン	アンティーク模様。粉体塗料独特の模様です。アンティーク、バンピー、フラッシュトーン、ハンマートンなど様々な呼称で呼ばれています。
		キャンディトーン	カラークリヤー。発色・塗装作業性だけでなく塗膜性能にもこだわり、今までのカラークリヤを凌駕します。
		テラトーン	テラコッタ調模様。南欧素焼風の模様も粉体塗料であれば１コートで再現できます。
	チョコナ	各種	ペットボトル入粉体塗料。即日出荷の 100 色カラーバリエーション。粉体塗料をより多くの人に、より多くのものに。１本 330gx２本入りでオンラインショップにて販売中。

※ コナールトーンなど一部の塗料を除きます。詳しくはお問い合わせください。
● 樹脂により艶の調整範囲が異なります。詳しくはお問い合わせください。 ● 模様系塗料は、塗装設備・機器の種類、膜厚、焼付条件などで模様の状態が変化する場合があります。
● メタリックは、塗装機器の種類、膜厚等により輝度やメタリック感が変わる場合があります。 ● キャンディトーンは下地が透ける塗料ですので、下地の状態や膜厚により表情が変わります。

conall　conall Tone　Chocona　Conallshot smart powder gun　MaSty

塗料・塗装資材の総合商社
小ロット溶剤調色
小ロット粉体製造
塗装機器・設備のコーディネート

化学で人と自然の共生する明日へ

SANOH

株式会社 三 王 粉体事業所
埼玉県草加市弁天 4-17-18
TEL: 048-931-2001
FAX: 048-931-2141
www.san-oh-web.co.jp
info@san-oh-web.co.jp

AMENITY&TRUST

快適と信頼が
私たちの商品です。

表面処理の総合商社…

株式会社 板通

http://www.itatsu.co.jp

本社　〒326-0802　栃木県足利市旭町 553　TEL 0284(41)8181　FAX 0284(41)1250
本部　〒373-0015　群馬県太田市東新町 330　TEL 0276(25)8131　FAX 0276(25)8179

両毛支店/埼玉支店/高崎支店/小山支店/宇都宮支店/水戸支店/東北営業所
フィリピン/タイ/インドネシア/中国

横浜化成株式会社

本　　社　〒108-8388　東京都港区高輪2丁目21番43号　☎03(5421)8266(大代)
大 阪 支 店　〒530-0047　大阪市北区西天満5丁目1番9号　☎06(6364)4981（代）
千 葉 支 店　〒263-0001　千葉市稲毛区長沼原町804番地　☎043(259)2311（代）
静岡営業所　〒422-8067　静岡駿河区南町13番3号(TKビル)　☎054(282)5366（代）

地球に優しい環境型塗装技術はこれからの優先課題です !!
地球環境に優しい次世代の塗装法　Powder Coating（粉体塗装）
「長さ 17.5m」「重量2.0t」最先端の生産環境におまかせください。
妥協を許さない信念で、高品質を保ち保ち続けます。



株式会社　明希
代表取締役会長　新井 かおる（薫）代表取締役社長 新井 裕喜
〒675-1202　兵庫県加古川市八幡町野村字蟹草 616-44
TEL 079-438-2737（代）　FAX 079-438-2771（代）
HP:http://www.e-orca.net/~meiki/　Email:meiki_qa@e-orca.net



城南コーテック株式会社
樹脂からマグネシウムまでをラインシステム化した多量生産方式を採用
新素材をコーティングする
粉体塗装　電着塗装　溶剤塗装
本　社　〒142-0063　東京都品川区荏原 6－17－16　☎03(3787)0711㈹
上里工場　〒369-0315　埼玉県児玉郡上里町大字大御堂字長久保1450の37　☎0495(34)0801㈹
児玉工場　〒367-0206　埼玉県本庄市児玉町共栄 800－9　☎0495(72)6191㈹

ISO 9001・14001 登録企業
アックでは、塗料・塗装方法・設備・機器の提供はもちろん、塗料専門商社としての経験と知識を活かして、皆様が抱える問題に対し、環境時代に最適な「アイデア」を提案します。
環境時代が求めるエコロジカル・ペインティングへ
お客様に「信頼と満足」を
株式会社アック
www.a-c-c.co.jp
本社／名古屋市港区十一屋2-12 〒455-0831 TEL〈052〉381-5599
名古屋・小牧・三河・豊川・弥富・浜松・いわき・山口・東京

塗装会社が、
風土改革コンサル
はじめましたw！

自主的考動を育む製造業による働きがい改革
『T-CX』
ツツイ式 企業風土
トランスフォーメーション

自主的に考動できない…
連携できない…
やらされ感…、他人事…
離職が多い…、採用できない…



SDGs、DX、働き方改革をスムーズに運用する為には…
【自主的考動を育むアプローチ】が有効です。
聴く　問う　伝える　待つ

【お客様の声】
・社員だけに変化を強いていたことに気づいた。
・コーチがいることで実践できるようになった。
・ストレス無く、充実した経営ができるようになりました。
・家族との関係性も劇的に改善出来ました。

詳しくはT-CXチラシへ！

働きがい改革とわくわくSDGｓと粉体塗装のパイオニア
筒井工業株式会社

素材の付加価値を向上する



地球にやさしい粉体塗料
V-PET
Series

高意匠性シリーズ　特殊模様粉体塗料
エポキシ/ポリエステル系
V-PET特殊模様サテン
落ち着いた高級感あるサテン調仕上げ
エポキシ/ポリエステル系
V-PET特殊模様リンクル
立体的な３分つやからグロスの凸凹模様仕上げ

パウダーフロンシリーズ　ふっ素粉体塗料
ふっ素樹脂系
パウダーフロンCW
３分つや～フルグロスまで光沢調整が可能
ふっ素樹脂系
パウダーフロンSELA
ふっ素樹脂とポリエステル樹脂の二層分離形

・・・彩りに優しさをそえて・・・
未来へつなぐ
DNT
DAI NIPPON TORYO
大日本塗料株式会社
お問い合わせは
●大阪 ☎06-6266-3134 ●東京 ☎03-5710-4505
●小牧 ☎0568-76-5578 https://www.dnt.co.jp/
塗料相談室フリーダイヤル 0120-98-1716（いーないろ）

PARKER IONICS

パーカーエンジニアリング株式会社
PARKER ENGINEERING CO.,LTD.

粉体塗装のパイオニア。



独自のパルス制御で美しい仕上がりへ

新製品

Pulse Power 9000 シリーズ



Pulse Power9000S 塗料タンクモデル
Pulse Power9000TS 2 丁取塗料タンクモデル
Pulse Power9000B 塗料箱モデル
Pulse Power9000TB 2 丁取塗料箱モデル

東京営業　：03-3278-4800
名古屋営業所：052-823-1751
北陸出張所：0766-26-5131
北関東営業所：028-662-7641
大阪営業所　：06-6386-6132
九州営業所：093-631-7464

パーカーエンジニアリング株式会社
PARKER ENGINEERING CO.,LTD.
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-16-8 第二パーカービル
E-mail:PE-Contact@parker-eng.co.jp　http://www.parker-eng.co.jp

組合だより

お知らせ

今後の組合のイベントにつきご紹介致します。
詳細やお申込みに関するご案内は会員様に別途発信いたしますが、スケジュールに入れて頂けると幸いです。

＜新年賀詞交歓会＞

開催日：２０２７年1月２２日（金）　１６：００～１７：３０頃まで
会　場：第一ホテル東京（新橋）　ルミエール　（２６階）

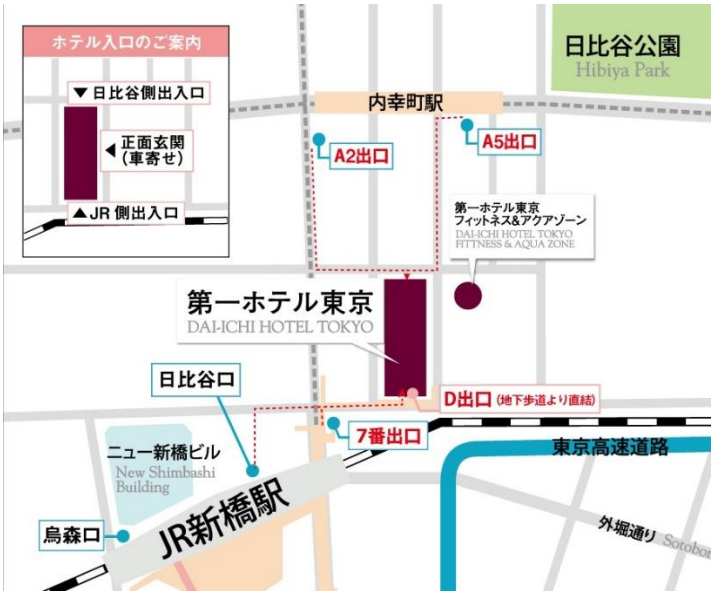
＜第３１回通常総会＞

開催日：２０２７年5月１９日（水）　１５：００～１５：４５
会　場：第一ホテル東京（新橋）会議室（4階：室名は未定）

＜第３１回通常総会懇親会＞

開催日：２０２７年5月１９日（水）　１６：００～１７：３０頃まで
会　場：第一ホテル東京（新橋）　ルミエール　（２６階）

以上を予定しております。
詳細につきましては、会員の皆様に適宜ご案内申し上げます。
また総会翌日には懇親のゴルフ会も開催予定ですので総会のご案内と共に連絡申し上げます。



第一ホテル東京周辺図

表紙解説

表紙絵画：小島輝夫

表紙写真

「晴れ行く鹿島槍ヶ岳」

初秋の頃、鹿島槍ヶ岳のよく見える後立山の冷池に行きました。撮影日は、最高の天候で撮影できました。雲が湧き出して、山岳写真としてはとても最高の出来上がりになりました。

パウダーコーティング　ISSN 1346-6739
2026年11月15日　Vol.26 No.4

発行所：日本パウダーコーティング協同組合（JAPCA）
東京都港区芝5-31-16　YCCビル9F
TEL: 03-3451-8555　FAX: 03-3451-9155
URL: http://www.powder-coating.or.jp
制　作：パウダーコーティング誌 制作部

©2026　日本パウダーコーティング協同組合
本誌に記載されたすべての記事内容について、日本パウダーコーティング協同組合の許可なく転載・複写することを禁じる。

パウダーコーティング　ISSN 1346-6739
二〇二六年十一月十五日　Vol.26 No.4
定価　一〇〇〇円

発行：日本パウダーコーティング協同組合（JAPCA）
東京都港区芝五-三一-一六　YCCビル
制作：パウダーコーティング誌制作部